

神田駿河台地域まちづくり協議会

第41回協議会 議事要旨

日 時：令和8年5月29日(金) 18:30～19:30

場 所：お茶の水小学校 2階 ランチルーム

出席者：駿河台西町会・駿河台東部町会・神田猿樂町町会・お茶の水茗溪通り会

・井上眼科病院・日本大学・日本ハリストス正教会・佐々木研究所

・日販グループホールディングス(株) (日本出版販売(株))・三井住友海上火災保険(株)

・東京地下鉄(株)・東日本旅客鉄道(株)

1. 前回の議事要旨の確認

【委 員】 特に意見なし。

2. まちづくり基本構想について説明(振り返り)

【委 員】 特に意見なし。

3. その他

○《御茶ノ水駅商業施設荷捌き状況》について報告 (JR 東日本より)

- ・地域の皆様のご理解とご協力を賜りながら、昨年5月に御茶ノ水駅の商業施設（エキュートエディション）を開業し、運営している。
- ・前回協議会において、茗溪通りにおける荷捌き車両の待機列の発生や、人通りの多い13時～16時に搬入出車両が集中することへの安全面への懸念についてご意見をいただいた。
- ・いただいたご意見を踏まえ、運営のグループ会社と連携して、待機列を発生させないため周辺のパーキングを活用を含め、荷捌き車両の時間帯の分散・場所的な分散や搬入時間の午前中への集約を徹底し、安全確保のための警備員の誘導等を実施した。
- ・また、5月14日から10月5日までの約5カ月間荷捌き場の使用状況について調査を行いました。1日あたりの作業台数は平日で最大9台程度、土日祝日が最大で7台程度と、当初説明していた想定車両台数約24台という台数を下回る結果となった。
- ・時間帯の内訳は5時～8時が4台程度、9時～12時が0～3台程度、懸念のあった13時～16時が0～2台程度、16時以降は入出庫がほぼ無い状態である。
- ・荷捌き車両の分散、朝の時間帯に集約を図ることにより、待機列がするというような状況は確認されていないことを報告させていただく。

○《ニコライ堂の文化財追加》について報告 (事務局より)

- ・今年の1月15日に日本ハリストス正教会様の本堂に加え、旧本館、旧住宅、旧図書館、旧防衛室の4棟の建物及び敷地を囲む石垣が重要文化財の追加指定を受けたことをご報告させていただく。

【日本ハリストス正教会】

- ・本堂以外の付属の建物が重要文化財に指定されたこと大変うれしく、ありがたく思う反面、大変なことであると受け止めている。
- ・ニコライ会館については、1970 年ころの建物で老朽化が進んでおり、建て替えが長年の懸念であったが、今回ようやく実現に至った。2027 年 9 月に完成予定である。この建物は教会の集会や葬式、結婚式をするホールと聖職者の住宅となる。工事車両の出入りも多く、大変ご迷惑おかけしますが、何卒ご理解の程よろしく願います。

○《新お茶の水ビルの建替え検討について》 日販グループホールディングスより

- ・新お茶の水ビルの建設が 43 年前、前回の大規模修繕が 20 年前ということもあり、老朽化が進んでいる。将来的にこのビルの建て替えを検討しなければならない時期にさしかかっているため、検討の準備を進めていることをご報告する。

○《日本大学の建物の有効活用や機能更新等の検討について》 日本大学より

- ・御茶ノ水地区には日本大学の建物が多数存在する。中には老朽化が進んでいる建物や有効活用できていない建物があるため、それらの有効活用や老朽化が進んでいる建物については建て替え等も視野に入れ検討に入っている。今後、必要に応じて報告させていただく。

【座長】

今日は基本構想の振り返りに続きまして、新お茶の水ビルさんのお話、それからニコライ堂の文化財の追加指定のお話。それから日本大学さんの今後の機能更新の検討ということで、いずれもこれから検討というお話をいただいた。

これから動く施設計画につきましては、ぜひ今日振り返りを行った基本構想もご配慮のうえ、プロジェクトを進めていただき、神田駿河台地域全体が統一感のある街づくりとして進むようにぜひご協力をお願いしたい。

終了 —